

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

Header table with columns: 事業コード, 7, 事業名, 販路拡大支援事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 4, 施策名, 地域外に活路を見出す販路拡大支援の充実

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景
人口減少や少子高齢化による地域市場の縮小に対応するため、商談会や物産展等への効果的な出展支援を通じ、地域外に広く活路を見出していくことが求められている。
2. 事業のねらい
商工会が有する商品情報を県連合会に蓄積し、商品の完成度や成熟度に応じた支援策の提案を行うとともに、テーマの設定や時期により域外に売り出す商品を選定し、「チーム秋田」として集中的な支援を実施する。
3. これまでの評価結果
過年度 H29 - H30 B R1 R2
年度ごとにテーマを設定し、選別した商品群から県連合会内部審査会を開催して重点的に支援する商品を選定したうえで、各種商談会や物産展への出展について事前準備からアフターフォローまで一貫した支援を実施することで確実に儲かる企業を輩出できている。
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応
商品情報の収集力を高めるため、商工会との連携を強めるとともに、事業者・商工会・県連合会によるチーム支援により更なる支援効果の拡大を図る。

【取組評価】

Table with columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Row 15: 事業者ニーズに応じた支援策の展開, 「カンパイ！秋田」をテーマにニッポン全国物産展にて日本酒バーを再現するなど、テーマに沿った商品展開で効果的な販路拡大支援を実施できた。 a a a A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with columns: 取組コード, 15, 取組コード, 15, 取組コード, 指標名, 販路拡大支援件数, 指標名, 新規取引先獲得件数, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3. Includes rows for 目標, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価
【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
<評価の理由>
人口減少や少子高齢化により地域マーケットの縮小が続いている秋田県においては、新たな市場獲得が不可欠であり、地域外への販路拡大の必要性は高い。
【有効性の観点】事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
<事業の目標は達成されているかどうか>
テーマ設定による重点支援先の選定と、事前準備からアフターフォローまでの一貫した集中支援により、数値目標も達成し確実に儲かる企業を輩出できている。
【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
<コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由>
重点支援先を選定し、県補助金を有効に活用しながら支援計画に沿った支援を展開していることから、資金面やスケジュールに係る時間的コスト削減につながっている。
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A
年度ごとにテーマを設定し、選別した商品群から県連合会内部審査会を開催して重点的に支援する商品を選定したうえで、各種商談会や物産展への出展について事前準備からアフターフォローまで一貫した支援を実施することで確実に儲かる企業を輩出できている。
3. 課題
商品情報の収集や、効率的な商談会等への出展支援に向けて、商工会との連携をより強化する必要がある。
4. 今後の対応方針(改善点)
重点支援先の選定にあたって、商品情報の収集力を高めるために、経営発達支援計画により販路拡大に取り組む商工会の職員をメンバーとして販路拡大研究会を立ち上げ、商品の選定からより効果的な商談会等への出展支援について検討する。